

2024年 ガイドライン評価改善シート

施設名 (スタジオアルテ就労継続支援B型) 作成日時 (2024年9月10日)

| | | |
|----|-----|----|
| 代表 | 施設長 | 本部 |
| 印 | | |

| | |
|-----------------|---|
| 2024年度 改善への取り組み | 利用者の特性に合わせた支援内容の充実・スタッフの支援スキルの向上 |
| 今年度の施設目標 | <ul style="list-style-type: none"> メンバーが安心できる「場」の提供の継続 関係機関や保護者との情報共有・連携の強化 個々の強みを活かした作業の充実化・能力の向上→能力給、評価にて工賃アップを目指す |

| 項目 | 事業所内評価を踏まえた上での問題点 | 事業所内評価を踏まえた上での改善点 |
|---------------|---|--|
| 環境・体制整備 | 職員間のコミュニケーションもしっかりと取れており、安定した支援を継続できている。 作業スペースが広がったが上手く活用できていない。 | 利用の状況や作業内容によってスペース設け、集中できる環境を整える。その為常に整理整頓なども心がける。保護者に面談の時に施設内を見てもらうようにする。 |
| 業務改善 | スタッフが増えたのでスタッフ各々の役割を明確化して、支援に生かしていく。 | スタッフの支援スキルの向上。 研修を受けたスタッフからのフィードバックをしっかりする。 |
| 適切な支援の提供 | 利用者の特性に合わせて、強味を活かした作業負担をしてきたことで、作業内容が偏ったり固定化してしまう利用者さんが出てきてしまっている。その為作業内容が同じものになってしまう事が多い。 日々の業務に追われアセスメントが取れていない。 | アセスメントを定期的に行い、作業内容が固定化しないよう個々のスキルを高めていく。 スタッフの支援力の向上。 |
| 関係機関との連携 | 他事業所と並行して通所している利用者さんがいるが、お互いあまり連絡をとることが少ない。 | 相談支援事業所には些細なことでも連絡を取るようにして、情報共有をするようにする。 |
| 本人（家族）への説明責任等 | | 面接時には作業評価表を作成し、作業内容を伝えつつ本人や家族の希望を聞き取るようにする。気になることはworks等で保護者に連絡をする。 |
| 非常時等の対応 | 避難訓練を行なっていることが保護者へ周知できていない。 | WORKSにて避難訓練の様子を報告。 LINEを登録していない保護者もいる為、LINE以外にも紙媒体でお知らせを出していく。 |



| 分析検討してみたの事業所の強み |
|---|
| 職員間のコミュニケーションは取れている 保護者とも連絡帳やWORKSを活用に連絡や情報共有が出来ている。 販路の拡大に伴い作業の安定が計れている。 |

| 分析検討してみたの事業所の改善点 |
|--|
| 利用者さん一人一人がスケジュールを見て作業をすると言う行動は出来ているがスケジュールの提示の仕方を一人一人にあったものに変えていきたい。 販路は安定しているが、価格高騰もあり利益が減少している。 |

| 事業所の改善への取り組み |
|--|
| 利用者のアセスメントを定期的に行う。 スタッフの支援スキルの向上。Eサービスなどの研修を受けたものが他のスタッフへフィードバックする事。 佐々木先生がコンサルに入ってくれることで支援に対する不安などを相談し改善できるようにしていく。 |

| 自己評価を行ったの事業所としての感想など |
|---|
| 販路も増え、定期的な注文・販売があり作業は安定しているがそれに特化してしまうあまり、支援内容がおろそかになっている気がする。 しっかりとミーティングの時間を設けスタッフ間の情報交換・共有の場を設けていきたい。 |

| | |
|----------|---|
| 来年度の施設目標 | <ul style="list-style-type: none"> 新規利用者の獲得・・・学校、相談支援事業所へのPRをしていく 個々の能力の向上（利用者・スタッフ共） |
|----------|---|